

大村工業土木科現場実習、技術・技能の向上へ

平山組など11社が協力



平山組の実習風景

県立大村工業高等学校は19～21日の3日間、土木科2年生を対象にインターンシップ(現場体験実習)を実施。実際に現場に入ること、土木工事の専門的知識や技術を総合的に学習すると同時に、仕事に対する責任感など社会的役割を学ぶことを目的に、毎年行っているもの。

今回は大村市、諫早市、東彼杵郡に施工現場を持つ11社が同校の実習に協力。各地区の実習現場では、安全面の配慮や職業意識が高揚する指導が進められ、生徒らは技術・技能の有用性を学んだ。

(株)平山組(中村人久社長)では生徒5人を受け入れ、村上利彦現場代理人が指導。実習期間中は、現場の工事概要説明から始まり、測量(光波、丁張)や水準測量の実技、施工管理についての講座などが盛り込まれたスケジュールで進められた。

村上現場代理人は「今回の実習においては、基本となる『安全面』と『原価管理面』の両面から考えることを中心に指導した。この経験を将来に生かしてほしい」と述べ、生徒らの飛躍を願った。

土木科インターンシップの協力会社および団体は次の通り(順不同)。

▽高瀬建設(株)▽(株)富永工務店▽山本建設(株)▽荒木建設(株)▽黒木建設(株)▽(株)朽原建設▽(株)平山組▽増山建設(株)・(株)野副建設JV▽星野建設(株)・安永建設工業(株)JV